

活動名	家庭科特別非常勤講座	報告者	家庭科
日時	5月27日(月)13:15 ~ 15:05		
場所	作法室		
参加人数(所属)	生徒 22名(まちIV)、教員 1名		
目的	茶道を通して、災害時に動じない心や態度を学ぶ。		

5月27日(月)5・6限、まちづくり科目「防災(災害時の生活)」の授業で3年生選択者を対象に名村先生をお招きし茶道のご指導をしていただきました。

初めに、軸の「和敬清寂」や「利休七則」について説明があり、その後、お菓子のいただき方、お茶の飲み方も教えていただきました。

生徒は茶道を通し、何事にも動じない心や癒しの大切さを学びました。

この実習で学んだことを活かし、頑張りたいと思います。

ありがとうございました。

<生徒の感想>

今回茶道を経験し正座で短時間いることが出来ないということがお茶をするうえで恥ずかしかったです。お茶を立てる際に上手く手首が使えず、立てるのに時間がかかりました。そして、動きにも一つひとつに作法があり、とても難しかったです。出来て良かったと思いました。お茶を4回で飲むことや、一回ずつ確認や観察することがあるということがわかりました。最後には、お茶を入れていただいたことに感謝するなど意味があるということも知りました。また、落ち着いて一つずつ行うという前回の授業が、今回の授業で活かせたと思います。

「落ち着くこと」、「見ること」の大切さを改めて感じる事が出来た良い時間となりました。

